

実施内容	心のバリアフリー化宣言！ 車いすスポーツ体験(車いすバスケットボール)		体験領域	他者理解
日付	令和6年2月13日(火)	場所	体育館	
実施校	三鷹市立羽沢小学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールの体験を通して、障害も一つの個性と捉えるなど、障害について考え、理解を深めることをねらいとしています。 ・車いすバスケットボールの元日本代表選手から、デモンストレーションも交えながら車いすの操作方法や、シュートやドリブルなどの基礎技能の指導を受けることができる内容となっています。 			

車いすの操作練習

- ・進み方や曲がり方などの車いすの操作方法を練習しました。思いどおりに操作できたときには、「できた！」などの歓声が上がっていました。



- ・車いすの乗り降りでは、安全確保のために互いに補助するなど、協力して取り組んでいました。

車いすに乗っての鬼ごっこ

- ・3チームに分かれ、車いすに乗って鬼ごっこを行いました。普段の鬼ごっこのように動けない様子でしたが、チーム内で声を掛け合いながら取り組んでいました。



車いすバスケットボールのミニゲーム

- ・車いすバスケットボールの基礎技能であるパスやシュートの練習をし、ルールの説明を受けてミニゲームを行いました。

- ・パスが繋がったときや、ゴールが決まったときには、拍手が起こったり、「ナイス！」と大きな歓声が上がったりと、大変盛り上がりました。

- ・最後に選手から「障害も一つの個性である」、「新しいことに挑戦することは楽しい」といった話がありました。児童は今回の体験を振り返りながら、真剣な表情で話を聞いているようでした。



参加した児童の声・反応

- ・障害者スポーツを体験する機会がなかなか無いので、とてもよかったです。障害があっても、障害がない人に負けないうらい元気に動けることに驚きました。
- ・障害のある方の話を聞いて、普段の生活を送る上で大変なことが分かりました。町で障害のある方と出会った時には、お手伝いができるようになりたいです。